

農地利用に関する分析から

農業・農村構造プロジェクト センサス分析チーム

大規模層による田の集積が進展

農業経営体全体の経営田に占める5ha以上の田面積シェア（以下、田シェア）は、都府県平均で2015年の42.9%から2020年には53.1%に上昇しており、この間着実に規模の大きい経営体による田の集積が進展しています。

図1は、経営田面積5ha以上の経営体について、地域ブロック別及び販売農家・組織経営体別に2020年時点での面積規模別の田シェアを示したものです。東北、北陸、北関東、東海、北九州の5地域は5ha以上の田シェアが50%を超えており、うち北関東を除く4地域では、「30ha以上」層での田シェアが20%以上と高く、組織経営体による田シェアがいずれも都府県平均（13.3%）を上回って高い点が共通しています。つまり、5ha以上層の田シェアが50%を超えている地域の多くは、30ha以上の大規模な組織経営体による集積が進んでいる地域であることがわかります。さらに東北、北陸、北関東については、その大半が販売農家で構成される「5～10ha」層と「10～30ha」層の販売農家の田シェアの合計が都府県平均を上回っています。

一方で、東山から四国にかけては、「5～10ha」層の田シェアが低く、「10～30ha」層での販売農家の田シェアも近畿、山陽、山陰、四国の各地域では10%未満と低くなっています。また、組織経営体の「30ha以上」層での田シェアも、東海以外は都府県平均より低い水準にあります。

組織経営体による田の集積動向に地域差

もっとも、一口に組織経営体による田の集積といっても、その動向は大きく異なります。表1は

2010年から2020年までの農業経営体全体の経営田に占める組織経営体の田シェアの推移を地域ブロック別に示したものです。都府県平均でみると、組織経営体の田シェアは年々上昇しており、2010年の13.1%から2020年には21.8%にまで達しています。また法人組織の田シェアも同期間に5.3%から17.1%へ、「常雇いあり」法人組織の田シェアも2.4%から7.6%へと上昇しています。この傾向はすべての地域に共通しますが、地域差も見られます。

まず、北陸、東山、東海、山陰、山陽の各地域は、2010年から2020年まで一貫して法人組織及び「常雇いあり」法人組織の田シェアが都府県平均より高い傾向にあります。これらの地域は早期に集落営農組織が設立され、構成員減少や高齢化が進む中、法人化や常雇いの導入による労働力確保の必要性に迫られているケースが多かったと考えられます。

これに対し、東北は法人組織及び「常雇いあり」法人組織の田シェアが2010年から2020年にかけて都府県平均を下回っています。また、北九州は組織経営体の田シェアは一貫して都府県平均を上回る一方、法人組織の田シェアはこれを下回り、さらに「常雇いあり」法人組織のシェアは2020年時点でも北関東、南関東に次いで低い水準です。東北と北九州は2007年に品目横断的経営安定対策が導入された際、個別農家が組織内で従来の営農を継続する、いわゆる「枝番管理型」の集落営農組織が多数設立された地域でもあります。そのため、2020年時点でもなお組織内で個別農家の営農が維持される傾向にあるとともに、北陸、東山、東海、山陰、山陽といった地域のように、組織の法人化や常雇いの導入による労働力確保の必要性が迫られる段階にはなかったとも考えられます。（曲木 若葉）

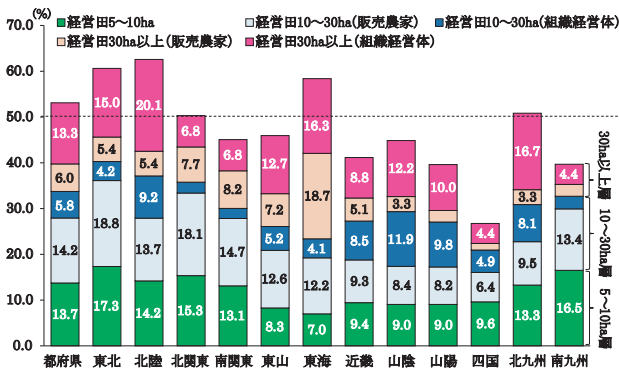


図1 経営田5ha以上規模層の田面積シェア (2020年)

資料：農林業センサスの調査票情報から独自に集計。
注。「5～10ha」層については都府県平均で経営田面積に占める販売農家のシェアが都府県平均で93.3%であったため、販売農家と組織経営体を分けて記載していない。

表1 組織経営体の田面積シェアの推移 (都府県、2010～20年)

	組織経営体計			うち法人組織			うち常雇いあり		
	2010年	2015年	2020年	2010年	2015年	2020年	2010年	2015年	2020年
都府県	13.1%	17.5%	21.8%	5.3%	10.4%	17.1%	2.4%	5.5%	7.6%
東北	13.4%	17.0%	21.0%	3.4%	7.8%	14.7%	1.6%	4.1%	7.0%
北陸	20.1%	25.5%	32.4%	12.5%	19.4%	28.2%	4.7%	9.8%	11.6%
北関東	6.5%	8.5%	10.6%	2.5%	5.5%	8.0%	1.5%	3.0%	3.7%
南関東	4.2%	7.7%	10.5%	2.5%	6.1%	9.4%	1.1%	3.2%	4.4%
東山	15.4%	18.6%	21.1%	6.8%	15.6%	18.8%	3.8%	8.9%	10.6%
東海	13.0%	19.6%	26.9%	8.3%	16.1%	23.8%	5.5%	12.3%	14.1%
近畿	9.4%	16.1%	21.7%	4.5%	10.3%	17.5%	2.4%	4.3%	7.3%
山陰	14.0%	20.4%	28.7%	8.3%	16.6%	25.4%	2.7%	7.6%	9.4%
山陽	10.3%	17.2%	22.6%	8.3%	16.0%	21.8%	2.4%	7.1%	8.9%
四国	6.1%	9.7%	12.0%	3.1%	6.1%	11.0%	1.7%	3.1%	5.3%
北九州	21.7%	25.6%	27.5%	3.4%	7.0%	16.4%	1.3%	3.1%	4.9%
南九州	2.8%	5.5%	9.1%	2.3%	4.9%	8.6%	1.4%	3.8%	5.6%

資料：農林業センサスの調査票情報から独自に集計。
注。都府県平均を上回る数値に網掛けをした。